

「名古屋いのちの電話」相談員研修会

対象：認定1年目・担当して3～4か月

日時：2023年9月19日（火）18：45～20：15

会場：「東桜会館」

【演題】：「依存と依存症」を巡って

真栄城 輝明（大和内観研修所）

Teruaki Maeshiro, Ph.D.

【講演要旨】

- | | |
|---------------|------------------|
| I 「依存」を巡って | VI 「人間関係（つながり）」考 |
| II 「嗜癖」と「依存症」 | VII 江戸時代のカウンセラー |
| III 時代精神と心の病 | VIII 『健康』について考える |
| IV 依存症の特徴 | IX 回想（内観）のすすめ |
| V 「依存症」と「共依存」 | X まとめ |

『嗜癖（Addiction）』≒『依存症（Dependence）』

嗜癖は英語にすると『Addiction』である。

英語の『Addiction』は、日本語の嗜癖よりも強い意味を感じさせる。従って、『嗜癖問題』というふうに『問題』をくっつけて呼ぶほうがふさわしい。

臨床の場で遭遇する『嗜癖問題（Addiction）』は、単なる嗜好とは違って、嗜癖者本人、さらに家族や周囲の人をも巻き込んで、困った事態が発生している場合を指す。

むしろ『耽溺』と言ったほうがよい。

いったんその耽溺状態に陥ってしまうと容易には抜け出せない。「わかっちゃいるけどやめられない」という逼迫した事態である。そこまでくると『依存症（Dependence）』という診断が下される。